



法政大学 人間環境学部・同大学院  
環境マネジメント研究科 教授

堀内 行蔵 (ほりうち・こうぞう)

日本企業の地球環境問題への対応は大きく変化しています。企業経営は政府の規制を遵守するという受け身の対応から、地球環境問題をビジネス・チャンスとして捉え積極的に経営戦略に取り込むという対応へと変化しています。本CSR報告書では、日立金属グループの先取りのな戦略姿勢がはっきりと表れています。

2010年9月、日立金属グループ行動規範が制定されました。これは、国連の提唱するグローバル・コンパクトも参考にしたと考えられますが、環境、社会、経済性についての具体的基準が示され、理念・行動指針から現場の仕事への流れが明確になりました。この行動規範のなかで特徴的なのは「技術者倫理の遵守」です。技術と営利とのバランスは経営の根本原則であり、「技術者倫理の遵守」はゴーイング・コンサーンを追求する企業にとってますます重要となるでしょう。また、行動規範に掲げられた「各国・各地域の文化・慣習の尊重と法令遵守」「人権の尊重」は、グローバル化する企業のCSR経営にとって重要な課題となっています。

本CSR報告書では、日立金属グループのCSR活動がバランスよくまとめられていますが、以下、若干のコメントをしたいと思います。

社会性報告では、コンプライアンスについては丁寧に記述されていますが、それに加え女性の活用やワークライフ・バランスなどの叙述も充実していただきたいです。社員の社会・地域活動については、実際に参加された方の声を聞き

たいと考えます。また、行動規範に掲げられたCSR経営に関し、海外事業についての報告が求められるでしょう。

環境性報告では、環境対応の新製品開発の進展や研究開発費の増加が記述されており、技術先進企業としての特徴が明確になっています。また、1990年度と比較し国内CO<sub>2</sub>排出量は傾向的に減少しており、ゼロエミッションを達成した事業所が増加するなど、環境パフォーマンスも向上しています。ただし海外展開に伴い、グループ全体での環境パフォーマンスの改善が求められることになるでしょう。

今後は温暖化問題に加え、生物多様性の保全が大きな課題になります。「生物多様性の保全への配慮」については、グループの環境保全基本方針に明記されていますが、全体として、この問題に関する記述が少ないと感じました。金属リサイクルは、省エネルギーによって温暖化防止に役立つほか、省資源によって生物多様性の保全にも寄与します。CO<sub>2</sub>の排出削減ばかりでなく、有害物質や廃棄物の排出減少も生物多様性の保全に役立っています。金属メーカーにとって原料の採掘・調達は、生物多様性の保全と深く関連します。地球環境問題は相互に関連しているので、対応策を考えるとときには、個々の問題を統合し、サプライチェーン全体でグローバルにグリーン化することが求められています。

以上ですが、21世紀をイノベーションで切り拓く企業グループとして、今後のリーダーシップに期待しています。



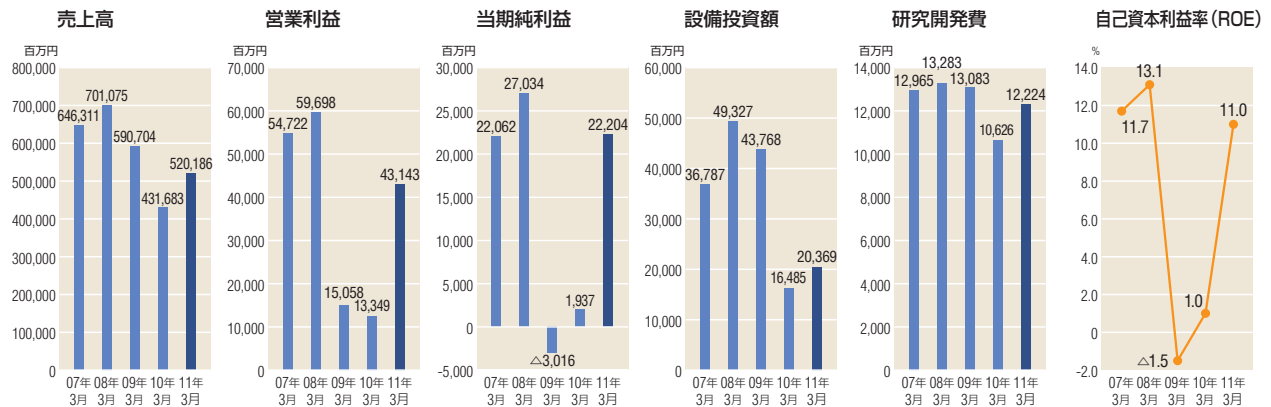
代表執行役  
日立金属株式会社 執行役常務 島 順彦

### 当社の回答

貴重なアドバイスをありがとうございます。われわれは「最良の会社」を具現して社会に貢献する」という経営理念をベースにした行動指針を道しるべに、グローバルな外部環境の変化にも対応した経営を行ってきました。この度、「日立金属グループ行動規範」という、日々の具体的行動に活かすことのできるグローバルな指標を得たことで、今後は従業員一人ひとりの顔が見えるCSR活動を展開できるのではないかと期待しております。

一方、震災後の日本は、今迄の経営戦略を大きく転換せざるを得ない状況にあります。この激動の世の中で持続的成長を図るためには、この行動規範に則り、ご指摘いただいた「技術者倫理の遵守」「各国・各地域の文化・慣習の尊重と法令遵守」「人権の尊重」「生物多様性の保全への配慮」等にグローバルな視点で、一人ひとりが真摯に取り組んでいくことが大切であると考えております。今後も日立金属グループのCSR活動をすすめて社会の期待に応えてまいりたいと思います。

2011年3月期 財務ハイライト(連結)



コーポレートデータ

日立金属主要製造拠点 (2011年3月末現在)

高級金属製品



**安来工場**  
〒692-8601  
島根県安来市安来町2107番地2



**(株)日立金属若松**  
〒808-8558  
福岡県北九州市若松区北浜一丁目9番1号

電子・情報部品



**鳥取工場**  
〒689-1121  
鳥取県鳥取市南栄町70番地2



**熊谷製作所**  
〒360-8577  
埼玉県熊谷市三ヶ尻5200番地



**山崎製造センター**  
〒618-0013  
大阪府三島郡島本町江川二丁目15番17号



**和歌山製造工場**  
〒640-8404  
和歌山県和歌山市湊1850番地



**メトグラス安来工場**  
〒692-8601  
島根県安来市飯島町1240番地2

高級機能部品



**九州工場**  
〒800-0393  
福岡県京都郡苅田町長浜町35番地



**真岡工場**  
〒321-4367  
栃木県真岡市鬼怒ヶ丘13番地



**熊谷工場**  
〒360-8577  
埼玉県熊谷市三ヶ尻5200番地



**桑名工場**  
〒511-8511  
三重県桑名市大福2番地

会社概要

**設立** 1956年(昭和31年)4月10日  
**資本金** 26,284百万円(2011年3月末現在)  
**代表者** 代表執行役 執行役社長 藤井 博行  
**従業員数** 日立金属グループ連結：18,008名(2011年3月末現在)  
**事業内容** 高級金属製品、電子・情報部品、高級機能部品の製造と販売、サービス他  
**グループ会社** 62の子会社、9の関連会社  
**本社** 〒105-8614 東京都港区芝浦一丁目2番1号 シーバンスN館  
 フリーコール ☎ : 0800-500-5055  
 FAX : (03) 5765-8311

コーポレート・ガバナンス

日立金属グループのCSR

社会性報告

環境性報告

経済性報告・コーポレートデータ

日立金属のCSRへの取り組みに関するご意見・ご感想に対するお問い合わせ先

 **日立金属株式会社** CSR推進室

〒105-8614 東京都港区芝浦一丁目2番1号 シーバンスN館

TEL:(03) 5765-4591 FAX:(03) 5765-4597

<http://www.hitachi-metals.co.jp/>

チーム・マイナス6%は  
チャレンジ25になりました。

未来が変わる。  
日本が変える。

チャレンジ  
**25**  
